

Welなかがわ

ウエル

WelはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

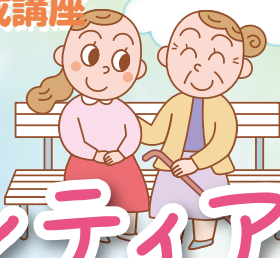
第47号

発行 / 2012.3

平成23年度 お話し相手ボランティア養成講座

ご存知ですか?

「傾聴ボランティア」



「話を聞いてもらってスッキリした」「人に話して気持ちの整理がついた」なんて経験はありませんか？ 誰かに話を聞いてもらうことは、私たちの心の健康に大きな役割を果たしています。そのお話を聴く**傾聴ボランティア**という活動が、注目されています。「傾聴」とは、相手の気持ちに寄り添い、心で話を聴いて受け止めること。昨年の東日本大震災のあと、被災された方たちのお話を聴く**傾聴ボランティア**の活動がメディアでも紹介されました。お話を聴くことで、誰かを支援できる活動があるのです。



▲高齢者施設での体験実習。
相づちや表情も傾聴の大切な要素。

お話し相手ボランティア 養成講座



▲ロールプレイで傾聴の技術を学ぶ受講生たち。

傾聴の技術や心得を学び、ボランティア活動や地域活動に活かしてもらおうと、昨年度に引き続き、お話し相手ボランティア養成講座を開催しました。昨年度の講座修了後には、傾聴ボランティアグループが立ち上がり、中川区内の施設で活動しています。

- 1/23 ボランティアとは
傾聴の心構え
- 1/30 対人援助技術
ロールプレイ
- 2/6 体験実習に向けての
心構え・高齢者理解
- 2/7~ 体験実習(高齢者施設)
- 2/27 体験発表・交流会

「第2次地域福祉活動計画」 基本計画9 ボランティアの活性化 ボランティア登録者の拡大

今号の内容



- ボランティア養成講座開催 1
- 第2次地域福祉活動計画ニュース 2~3
- いきいき支援センターからのお知らせ 4
- 共同募金委員会からのお知らせ 5
- 福祉講演会の報告 6
- 平成23年度賛助会委員加入状況報告 6
- 寄付のお礼 6

第2次地域福祉活動計画ニュース

その11

中川区の福祉を進めるため、平成21年度から5年間かけて取り組んでいる第2次地域福祉活動計画も、今年度で中間年である3年目が終わります。地域住民の方達と様々な取り組みを行ってきましたが、11回目となる今回は、小地域での住民同士の支えあい活動に向けての取り組み、ボランティアグループ・サロンの紹介、ボランティア養成講座などをご紹介します。



基本計画9

地域福祉推進協議会の活性化

地域で支えあう仕組みづくりに向けての取り組み

～「住民ふくし調査」と「支えあいサポーター養成講座」～

高齢化が進み、また、地域のつながりが薄れてきている・・・と言われている昨今ですが、昨年の大震災の折、頼りになったのはご近所同士の助けあいだったと聞きます。「遠くの親類より近くの他人」ということわざがあるように、今ご近所の力が見直されています。

中川区社会福祉協議会と中川区西部いきいき支援センターでは、地域の様々な福祉課題を住民同士が「支えあい、助けあいの力」を発揮して解決できるような仕組みづくりをするための取り組みを始めています。

昨年5月から検討を始め、集合住宅の1つで、自治会として色々な取り組みをしている「たかはた荘」を、自治会の協力のもとモデル地域としました。



検討会グループワーク



住民ふくし調査結果報告会

まず、地域課題を明らかにし、地域にとって今何が必要とされているか確認するため、「住民ふくし調査」を9月全戸対象(274世帯)に行いました。66.4%から回答をいただき、その結果を集計・分析し、本会、いきいき支援センター始め中川区介護保険事業所、活動計画推進委員、そして自治会の方にもご参加いただき検討を重ねました。また地域に訪問し、聞き取り調査や現地調査を行い、その結果を12月中旬に住民の方に報告しました。ひとり暮らしの方の約8割が65歳以上の高齢者で、体調が良くないため外出機会が減っている、また気軽に立ち寄れるたまり場や異世代と交流できる場所があると

良いという意見や障がいや防災について学びたいなどの意見をいただきました。また暮らしやすいこのまちで、お互いを支えあう風土が進んで欲しいという意見が91%を占めました。

今後は、住民の方が「今できること、必要なこと」について考えていけるような集まりを行ったり、講座を実施し、住民による住民のための「助け合いのネットワーク」の構築を目指します。



自治会定例会で説明



基本計画9 ボランティアの活性化

ボランティア登録者の拡大

今回ご紹介するのは、中川区を中心に活動しているボランティアグループです。地域での催しなどで活躍中。ご興味のある方は、**中川区社会福祉協議会**までお問い合わせください。

中川マジック同好会

私たち中川マジック同好会はその名の通り、マジックのボランティア活動を様々なところで行っているグループです。平成3年に設立、今年で活動21年となります。現在メンバーは11名。男性8名、女性3名で活動しています。

定例会は毎月第1、3水曜日の18:30から、生涯学習センターでマジックの練習をみんなでわいわい楽しみながら行っています。

また、福祉施設、老人会、子ども会などでマジックを披露したり、幼稚園、児童館、小学校のトワイライトスクールで手品を教えたりしています。

会員の年齢は40代～80代まで様々。年齢、経験は問いません。ご興味のある方は是非ご連絡をください。





基本計画1 ご近所づきあいを大切にしたたまり場づくり

たまり場の設立

お住まいの地域の身近なところにある誰もが気軽に立ち寄れるたまり場「ふれあいいきいきサロン」をご紹介します。

かぼちゃくらぶ

- 開催日：原則毎月第4金曜日 10:00～11:30
- 会場：昭和橋コミュニティセンター(玉船町1-1-1)
- 参加費：無料 ●対象：0歳～未就園児とその保護者

昭和橋学区地域福祉推進協議会が主催。主任児童委員さんを中心に運営しています。参加者は毎回親子25組以上で、この日も寒い日でしたが25組55名の参加があり、熱気で暑いくらいでした。



お母さん達は、話に花を咲かせます。

このサロンは、場所を提供し自由に過ごしてもらうことを主目的にしています。時には、保健師さんなどにお話を聞いたり相談したり、クリスマス会などのイベントなども行いますが、やはりメインはお母さんや子ども同士の交流。子ども達は、たくさんあるおもちゃで楽しそうに遊んだり、時には取り合ったり？自由に遊び、お母さん達は賑やかに談笑しています。



児童委員さんによる赤ちゃん訪問や友達からの誘いで参加した方が多いとのこと。予約は不要です。一度遊びに行ったらどうでしょうか？

何かに夢中です。おもちゃかな？

たまり場づくりの展開

ふだんは別会場に集う人たちが一堂に集まる交流会を実施しました。

はつらつレクリエーション交流会

立春を過ぎてもまだ冬本番の、雨の2月14日に中川区役所講堂で「はつらつレクリエーション交流会」を開催しました。

名古屋市からの委託で大会が実施する「名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業」みつば会参加者を始め地域住民約300名の方にご参加いただき、手話コーラスや歌、合奏、体操などのステージ発表やフォークダンス、ゲームなど、賑やかに楽しく行われました。

この交流会の企画には、事業に参加する高齢者の方やボランティア、参加者やボランティアの男性メンバーを中心にした「男組」が関わり、それぞれの力を発揮してくれました。当日のおみやげ「鬼まんじゅう」も前日に20人程集まり作った愛情こもったものです！

自分のできることを無理なく実践！を合い言葉に、初めてでも年齢を重ねても関係なく、ボランティア活動に参加してもらい取り組んだ、心のこもった事業になりました。



フォークダンスを楽しむ参加者

会場ごとに舞台発表



ボランティア保険加入のご案内



安心して安全にボランティア活動するために「ボランティア保険」に加入しましょう！

ボランティア活動中の事故で、自身がケガをしたり、他人にケガをさせたり、他人の物を壊してしまった場合などに対する保険です。万一の事故に備えて加入をお勧めします。

* 3月13日(火)から平成24年度分の加入を受付します。

種類	活動保険	行事用保険
対象者	年間を通して活動する方	数日間の行事に参加する方
加入申込者	個人、グループ、特定非営利活動法人(NPO法人)	行事の主催者である団体、グループ等
掛金	<Aプラン> 250円 <Bプラン> 300円 <Cプラン> 350円 ※天災に対応したプランもあります。(330円～)	<A型> (宿泊を伴わない行事) 1日1名につき30円 ※20名以上から加入可能 <B型> (宿泊を伴う行事) 1泊2日1名につき240円～
補償期間	加入の翌日から年度末まで	行事開催中

詳しい保険の内容は 愛知県社会福祉協議会 のホームページで。
<http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/somu/hoken.html>

ボランティア保険 愛知

検索

保険のお申込方法などにつきましては、中川区社会福祉協議会までお問い合わせください。

いきいき支援センターからの お知らせ

いきいき支援センターは、高齢者のみなさんが住みなれた地域で安心して暮らせるよう保健・福祉・医療などさまざまな面から高齢者を支える「**高齢者福祉なんでも相談所**」として区内2か所に設置されています。

※住まいの学区により、担当するいきいき支援センターが決まっています。

◎いつまでも元気に！介護予防をすすめます

介護予防プログラムのご紹介や介護保険サービス利用についてのご相談に応じます

◎高齢者のみなさんの権利を守ります

高齢者虐待の相談やお金の管理や契約に不安のある方の相談、消費者被害についての相談などに応じます

◎認知症高齢者を介護するご家族を支援します

認知症高齢者を介護するご家族を支援します



西部いきいき支援センター TEL352-8258

所在地：小城町1-1-20 中川区在宅サービスセンター内
野田、荒子、正色、五反田、戸田、春田、豊治、長須賀、西前田、万場、千音寺、赤星、明正学区にお住まいの方

東部いきいき支援センター TEL354-8343

所在地：八幡本通2-27 コーポ中野1F
広見、露橋、八熊、八幡、愛知、常磐、篠原、昭和橋、玉川、中島、西中島学区にお住まいの方

区内にはいきいき支援センターと同様に相談できる「**高齢者福祉なんでも相談所**」(ランチ型相談窓口)が28ヶ所(平成24年1月現在)あります。詳しくはいきいき支援センターまでお問い合わせください。

あれ？認知症かも

どんなことでもお気軽にご相談を

家族が認知症かなと思った時、認知症高齢者を介護していて困った時などは、一人で悩まずご相談ください。



認知症高齢者家族支援事業のお知らせ **無料**

1 家族教室

認知症について学びます

介護している家族の方が、認知症の基礎知識や接し方について医師や介護経験者等から学ぶ教室です。

対象 認知症高齢者(65歳以上)を介護するご家族

開催時間 13:30~2時間程度

事前にお申込みください。途中からの参加OK

タイトル	西部	東部
ようこそ家族教室へ	4/27(金)	4/20(金)
認知症を正しく理解しよう	5/25(金)	5/18(金)
サービスについて知ろう	6/22(金)	6/15(金)
関わりについて学ぼう	7/27(金)	7/20(金)
介護体験を聞こう	8/24(金)	8/17(金)

2 医師(物忘れ相談医)による 専門相談

~早期発見・早期治療が大切です~

物忘れ相談医が、認知症の症状や対応方法など、ご不安なことの相談に応じ、不安の解消や早期発見、早期治療に向けたアドバイスを行います。

開催時間 13:30から
(1回1組30分程度)、3組まで

個別相談です。事前にお申し込みください。

西部	東部
4/10(火)	4/19(木)
5/23(水)	5/17(木)
6/12(火)	6/20(水)
7/11(水)	7/10(火)
8/14(火)	8/16(木)
9/12(水)	9/13(木)*

*9/13(木)のみ14:00から

3 家族サロン

ひとりじゃない ~みんなでお話しませんか~

認知症の方を介護している家族の方、介護の体験談や日ごろの思いなどを話し合い、リフレッシュしましょう♪

対象 認知症の方と関わっている方(介護の有無は問いません)

開催時間 13:30から

西部	東部
4/25(水)	4/19(木)
5/23(水)	5/17(木)
6/27(水)	6/21(木)
7/18(水)	7/19(木)
8/22(水)	8/16(木)
9/26(水)	9/20(木)

認知症サポーター養成講座

高齢者の増加にともない、認知症の方も増加することが予測されます。認知症に対して正しい知識を持ち、あたたかく見守ることができる地域が少しでも増えていくことを、私たちは目指しています。

認知症について学んでみたいという自治会やサークル等がありましたら、お気軽に担当のいきいき支援センターへお問い合わせください。

中川区共同募金委員会から

平成23年度 赤い羽根共同募金 実績報告

皆さまのあたたかいご協力により、今年も大きな成果をあげることができました。

お寄せいただいた募金は、中川区内の地域福祉事業、愛知県内の社会福祉施設の整備などに活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

平成23年度 共同募金実績

12,828,259円

●一般募金 12,468,566円

- ・家庭から 8,018,686円
- ・会社から 3,211,000円
- ・学校・幼稚園・保育園から 686,203円
- ・職場から 52,835円
- ・その他(イベント募金、赤い羽根協力店など)..... 499,842円

●歳末たすけあい募金 359,693円

●義援金

東日本大震災をはじめ、福島・新潟豪雨、台風12号の被災地義援金など、多大なご協力をいただき、ありがとうございました。東日本大震災義援金は引き続き受け付けています。

東日本大震災義援金

8,235,288円

(2012年1月31日現在)



ヨシツヤ太平通り店で、市立工業高校、中川商業高校、ボランティアグループ・九重群団仲よし会さんの協力を得て、街頭募金を行いました



中川区区民まつりでの赤い羽根チャリティバザー



東日本大震災から間もなく1年。今いちど支援を呼びかけようとフィールアイアイプラザで市立工業高校の生徒・教諭ら20名とともに街頭募金を行いました



つながっています赤い羽根

共同募金のつながりみず

皆さんからいただいた共同募金は、地域の様々な取り組みにつながっています。

中川区手をつなぐ育成会 「防災講座」

災害時、障がいを持つ人たち・家族はどのように行動したらよいのか？日ごろからの準備は？地域や周りの人を知っておいてもらいたいことは？東日本大震災の被災地で活動したなかがわ災害ボランティアネットワークのメンバーから現地の様子・教訓を聞き、災害への備えについて話し合いました。



▲防災グッズの説明を聞く参加者

ありがとうメッセージ
(助成団体からのお礼のこぼ)

防災講座を継続し、多くの方が防災意識を高めることで、自助・共助の助け合いが地域との絆を深め、支え合う仕組みづくりの基盤につながると思います。助成金を活用させていただけることに感謝します。

平成23年度 福祉講演会を開催しました

2月10日(金)に中川文化小劇場で、公益財団法人さわやか福祉財団理事長で弁護士の堀田 力さんをお迎えして、「福祉講演会」を開催しました。多くの方にお申し込みいただき、当日は約250名の方にご来場いただきました。

本会の事業紹介の後、「支えあう豊かな地域を目指して」というタイトルでご講演いただきました。

ご自身は、“20年前に法曹界からボランティアの世界に飛び込んだのだが、それは長年温めてきた自分の夢の実現だった”とのこと。“将来、自分が本当にしたいことは何か決めておくこと、今までの肩書を忘れて、自分が動くこと”が大事だそう。“退職後に、会社人間を家庭に持ち込むと奥さんに嫌われてしまいますよ。”と笑いとユーモアを交えながら、楽しくお話しいただきました。

皆さんからいただいたアンケートでも「人のつながり、絆を振り返ることができた」「楽しい話で元気が出た」などご好評をいただきました。

盛りだくさんの講演内容で、あっという間に時間が過ぎ、とても充実した時間になりました。地域の助け合い、支えあいもまた、人と人のつながり、絆から生まれます。皆が協力し合ってこそ、住みやすい地域が出来ていくのではないのでしょうか。



ほった つとむ

● 堀田 力さん サイン入り書籍 プレゼント!

堀田 力さんの書籍『第二の人生、勝負の時である。』に、直筆サインをいただきました。抽選で2名の方にプレゼントします。

はがきに、郵便番号・ご住所・氏名・本紙のご感想を記入のうえ、3月30日(金)までに本会あてご応募ください(あて先は、下記をご覧ください)。

当選者には、発送をもってお知らせします。ご応募お待ちしております。



平成23年度賛助会員加入状況報告(平成24年2月15日現在)

賛助会員にご加入をいただきありがとうございました。

みなさまにご協力いただいた賛助会員は、福祉活動やボランティア活動の推進、高齢者のための福祉事業など、中川区の福祉のために活用させていただきます。

平成23年度実績	(内訳)個人会員	8,432名	10,660,659円
	法人会員	498名	2,295,000円



寄付のお礼

寄付金は中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。(順不同)

- 篠田 幸三様 ● 藤原 キヨ子様
- その他 匿名

お祝いごとや香典返しにかえての寄付を受け付けております。
香典返しについては、あいさつ状をご用意いたします。

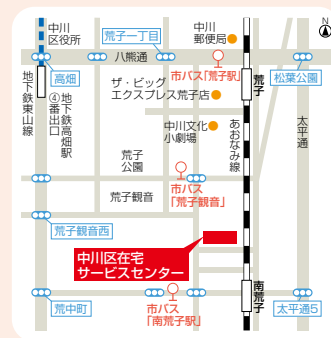
編集・発行

社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

〒454-0875
名古屋市中川区小城町1丁目1-20
(中川区在宅サービスセンター内)

TEL (052)352-8257
FAX (052)352-3825

メールアドレス
nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページ
http://www.nakagawashakyo.jp



＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。

「Welなかがわ」は、再生紙を使用しています。